



スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定第Ⅲ期 SSH コーディネーター配置

3月13日(水)、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校の内定を頂きました。昨年度までの第Ⅱ期(平成31年度～令和5年度)に続く第Ⅲ期であり、令和6年度から10年度までの5年間は指定期間となります。研究開発課題は、『「ネオ佐倉アクティブ」と「佐倉藩サイエンスフェスティバル」を基盤とした、地域発のグローバル社会で活躍できるサイエンスリーダーの育成』です。理数科と普通科が互いに高め合い、探究活動のさらなる充実を目指し、実践に励んでまいります。

令和6年度 SSH 内定校の一覧は下のURLまたは右のQRコードから、文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)令和6年度「基礎枠」、「文理融合基礎枠」及び「科学技術人材育成重点枠」内定校」のpdfをご覧ください。

https://www.mext.go.jp/content/20240302-kyoiku01-000034366_1.pdf

また、今年度から本校に週2回SSHコーディネーターの先生が来校します。令和5年度から文部科学省により、SSH指定校や地域の探究・理数系教育の充実や、域内外の他校への成果普及、外部機関との連携を推進する「コーディネーター」の配置に係る支援が始まりました。今年度1年間、SSHコーディネーターとして

千葉大学先進科学センター 花輪 知幸 先生

が来校され、課題研究についての指導・助言をくださることになりました。詳しくは下のリンクまたは右のQRコードから、文部科学省の「令和6年度SSHコーディネーター配置機関について」をご覧ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/gakkou/mext_02587.html

SS 探究Ⅱ「論文作成オリエンテーション」

SS探究Ⅱの授業で理数科3年生向けに論文作成に関するオリエンテーションが行われました。今年度から3年生の課題研究は週2時間に増えたため、実験を継続しながら論文を書いていく時間を十分にとることができるようになりました。SSHコーディネーターの花輪先生から、論文を書く順序やグラフ作成時に気をつけることなどのお話をいただきました(写真①)。後半の時間は研究班に分かれて、研究の結果を示すグラフを作成したり、花輪先生に研究の相談していました(写真②③)。グラフをきれいに描くために、pythonを使って描こうとしている班もありました。



↑写真①

SSH 活動掲示板は
こちら→



これまでの SSH 通信は
こちら→



↑写真②



↑写真③